

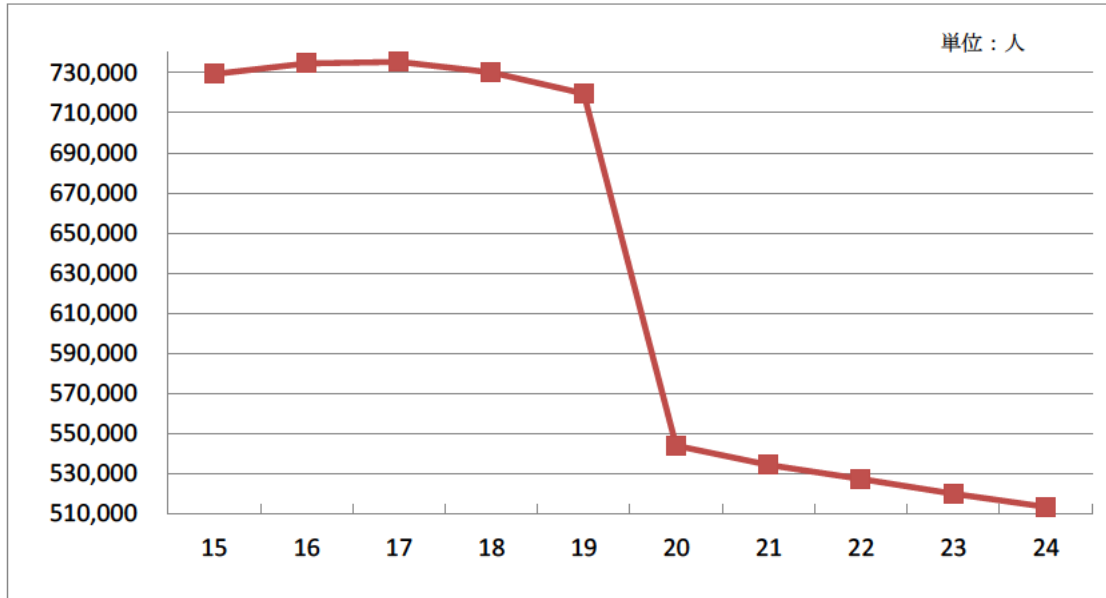
平成24年度国民健康保険の概況

〔1〕平成24年度末における一般状況

県下の被保険者数は513,072人（対前年度比1.3%減）と減少傾向にあります（第1図）。被保険者の構成割合は一般が480,521人（93.7%）、退職者等が32,551人（6.3%）となっています。

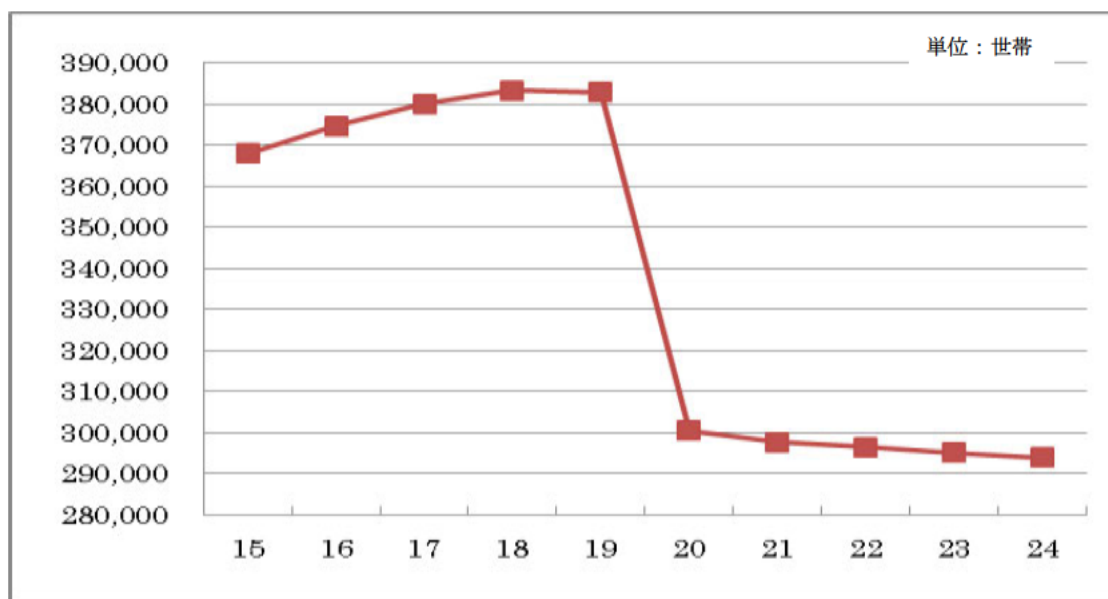
また、加入世帯数は293,928世帯（対前年度比0.4%減）で被保険者数と同様減少傾向にあり（第2図）、1世帯あたりの被保険者数も1.75人（対前年度比率0.9%減）となっており、減少傾向にあります。

第1図 年度別被保険者数の推移



年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
被保数	729,314	734,654	735,313	730,162	719,566	543,735	534,149	527,100	519,749	513,072

第2図 年度別世帯数の推移



年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
世帯数	367,838	374,529	379,981	383,177	382,846	300,450	297,670	296,505	295,092	293,928

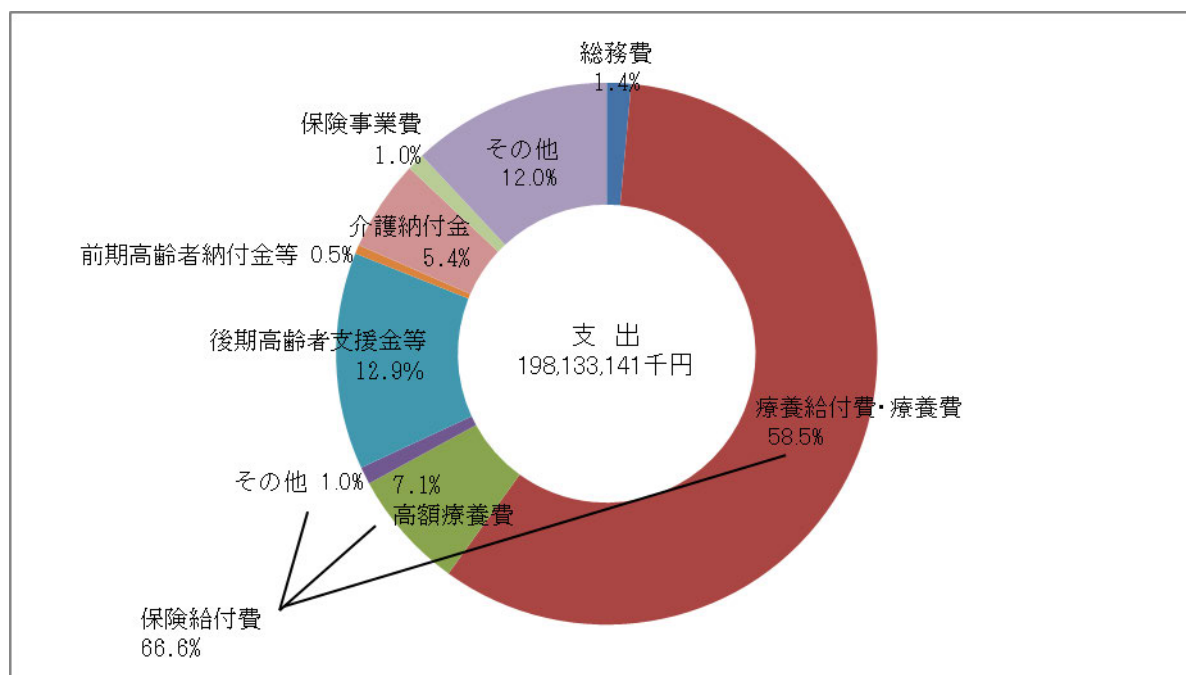
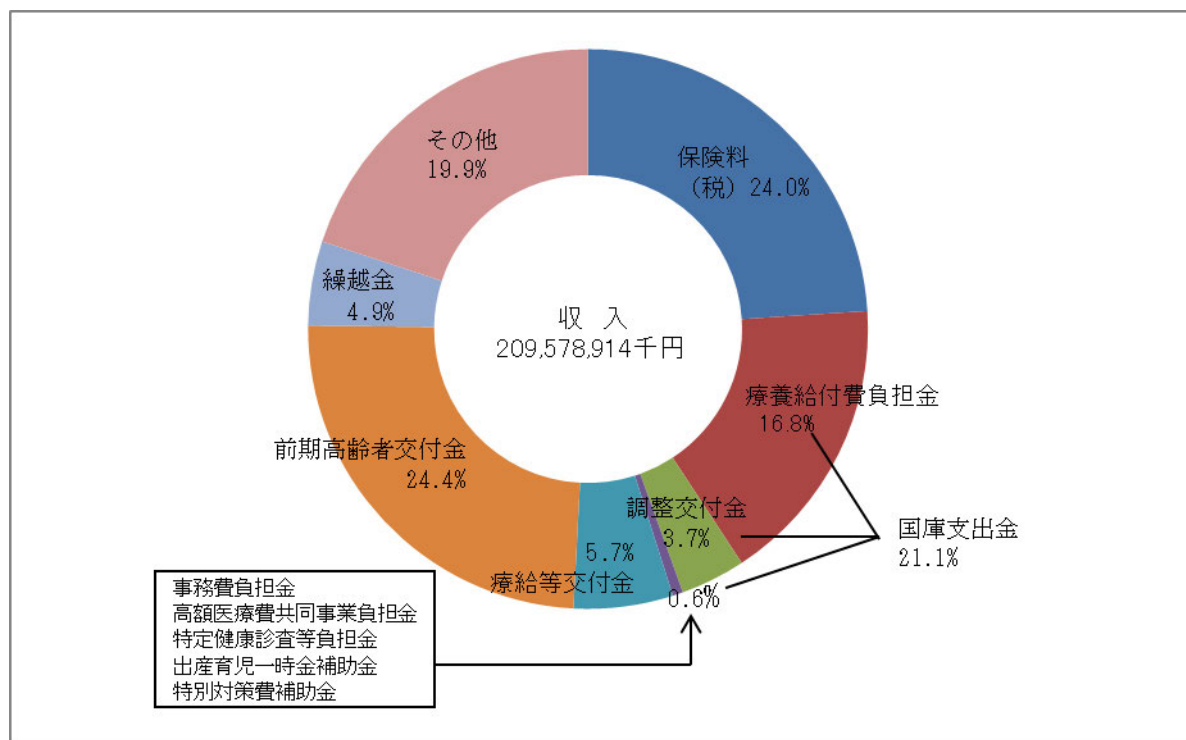
〔平成 24 年度における財政状況〕

平成 24 年度における歳入総額は 209,579 百万円（対前年度比 2.3%増）、歳出総額は 198,133 百万円（対前年度比 2.4%増）です。

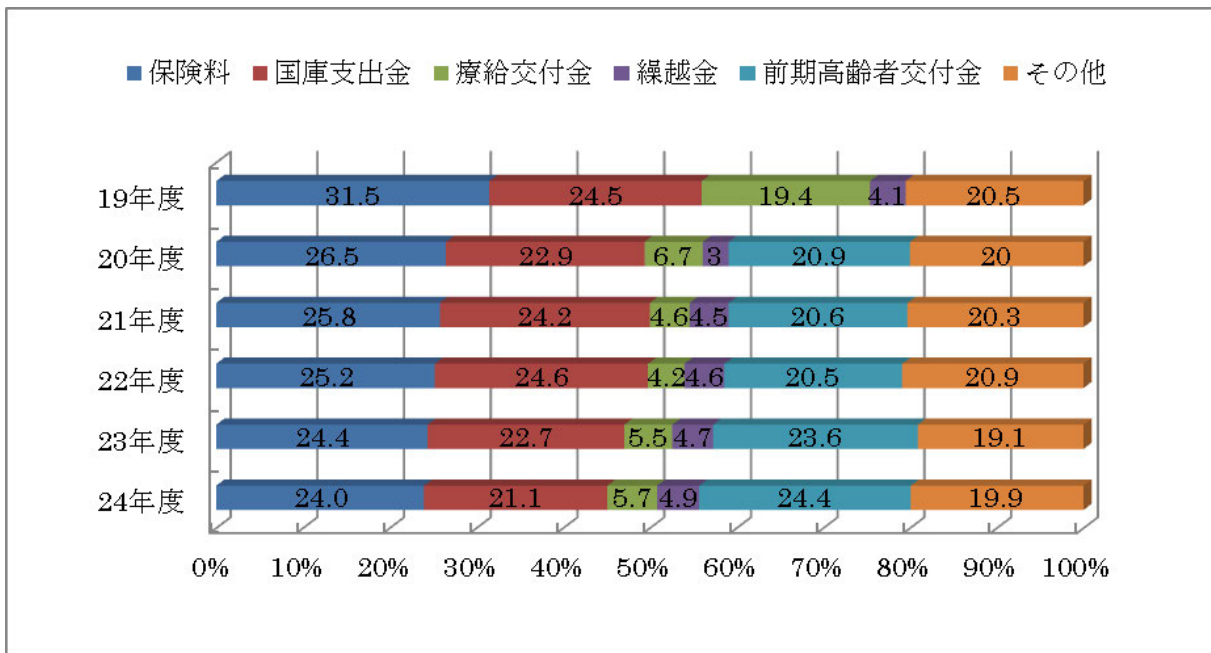
歳入の内訳を見ると、「保険料（税）」、「国庫支出金」、「前期高齢者交付金・療養給付費等交付金」「それ以外の収入」がほぼ 1/4 ずつであり、その構成については昨年度とほぼ変化はありません。また、基金からの繰入は 652 百万円（対前年度比 1.2%増）、繰越金も 10,202 百万円（対前年度比 5.3%増）となっており、依然として厳しい状況にあります。

歳出については、保険給付費が 132,049 百万円（対前年度比 0.5%増）となっており、歳出の 7 割近くを占めています。また、後期高齢者支援金等は 25,632 百万円、前期高齢者納付金は 1,055 百万円、老人保健拠出金は 2 百万円、介護納付金は 10,787 百万円となっています。

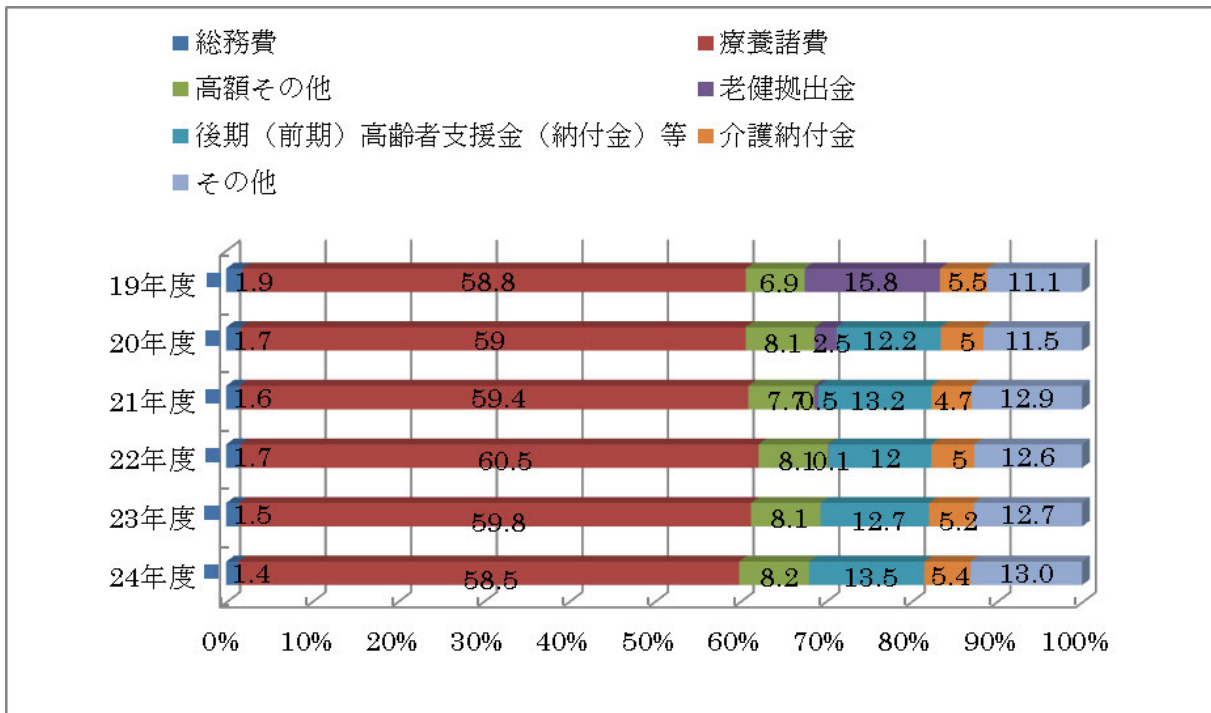
第 3 図 平成 24 年度収支構成図



第4図 年度別収支構成比の推移（収入）



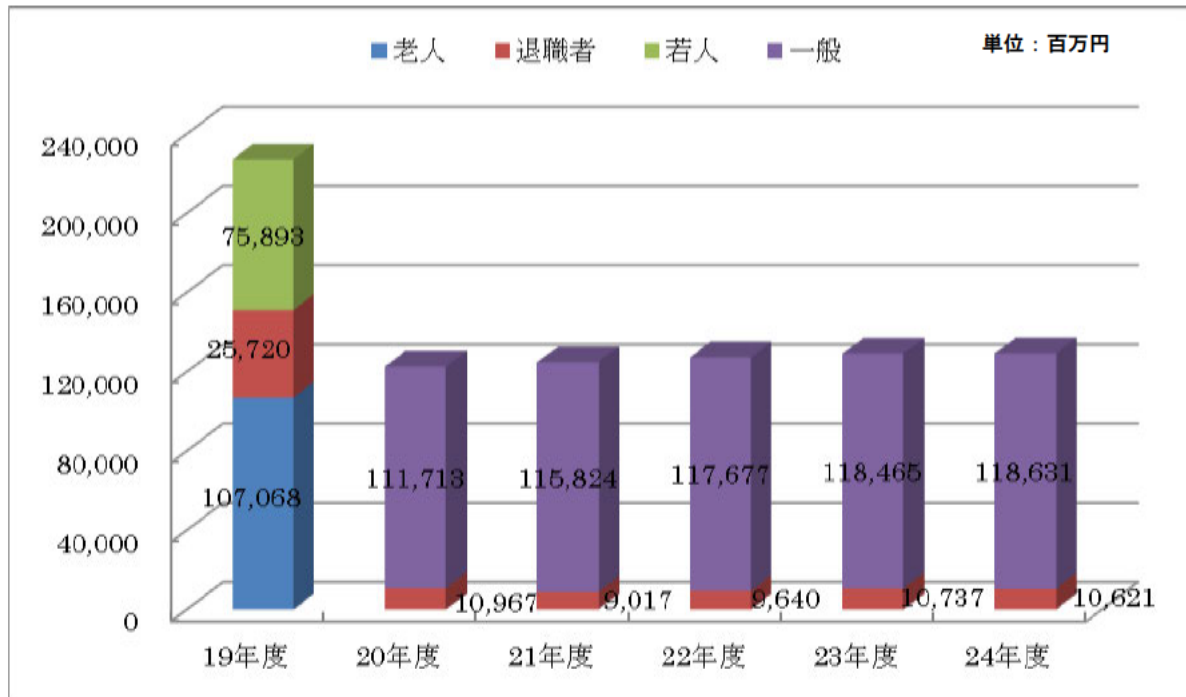
第5図 年度別収支構成比の推移（支出）



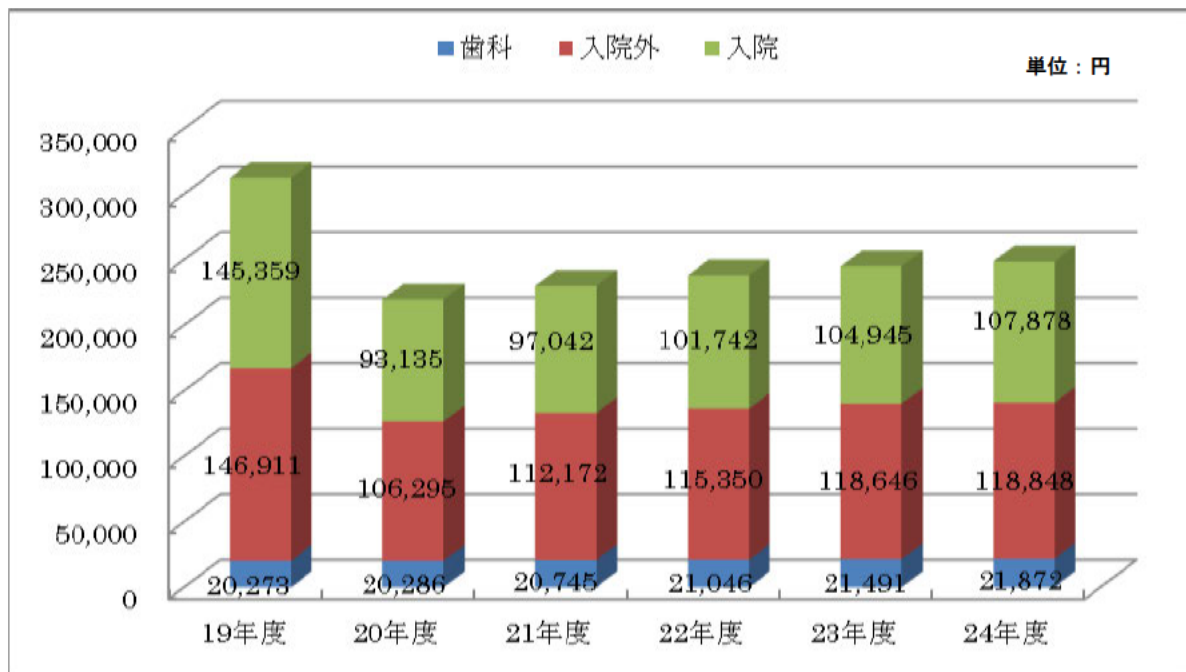
[3]平成 24 年度診療費の動向

平成 24 年度の国保診療費の総額は 129,252 百万円（対前年度比 0.04%増）となっています。

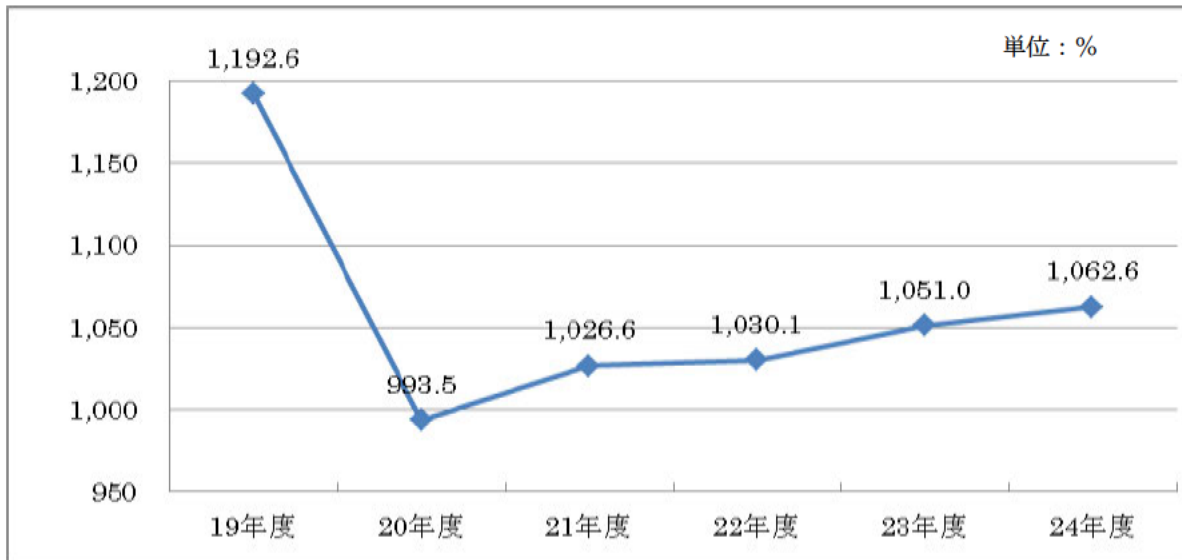
第 6 図 国民健康保険診療費の年度別推移



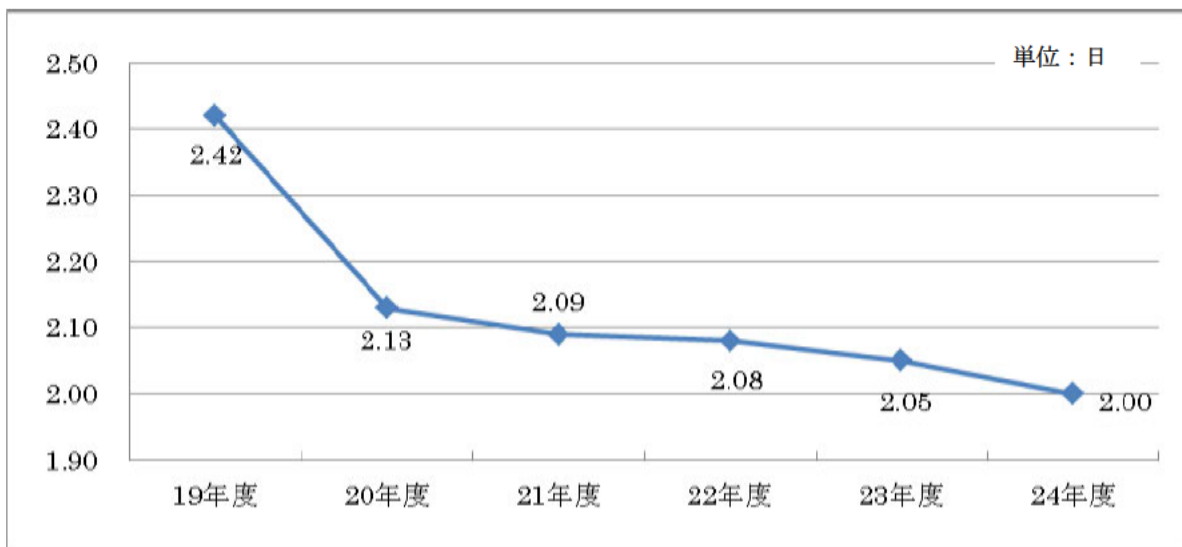
第 7 図 被保険者 1 人当たり診療費の年度推移



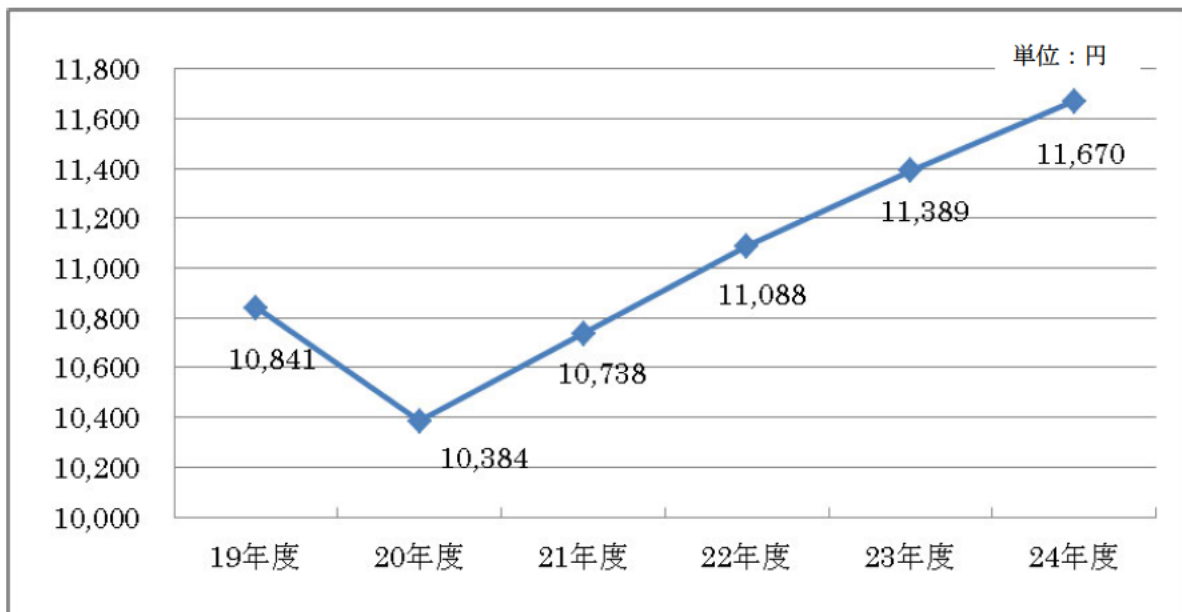
第8図 受診率（100人あたり受診件数）の年度別推移



第9図 1件当たり日数の年度別推移



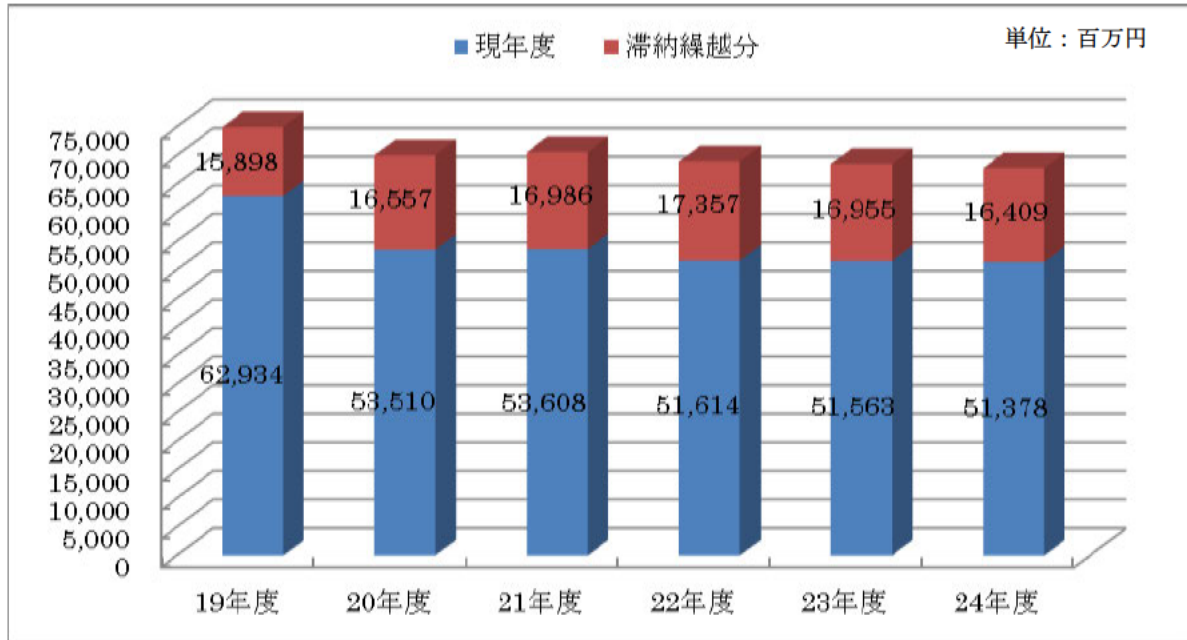
第10図 1日あたり診療費の年度別推移



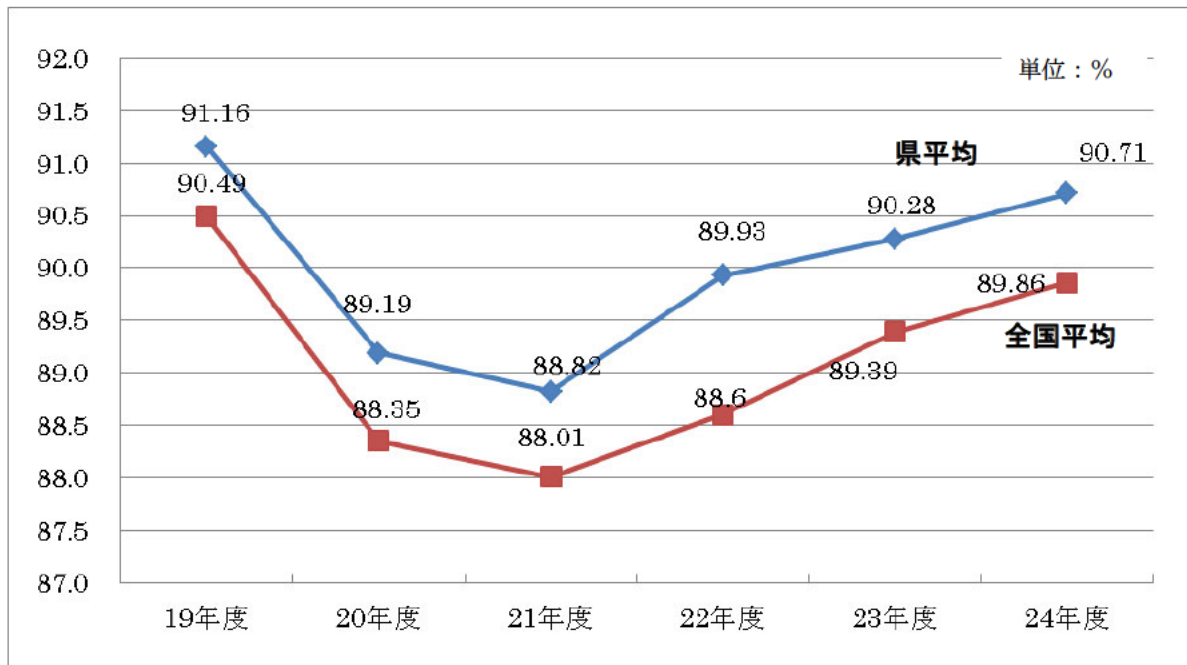
[4]平成 24 年度保険料(税)の状況

平成 24 年度における保険料(税)現年度分の調定額は 51,378 百万円(対前年度比 0.4%減)、収納額は 47,177 百万円(対前年度比 0.1%増)となっています。収納率の観点から見ると、市町平均で前年度と比較して 0.43 ポイント上昇の 90.71%となっています。

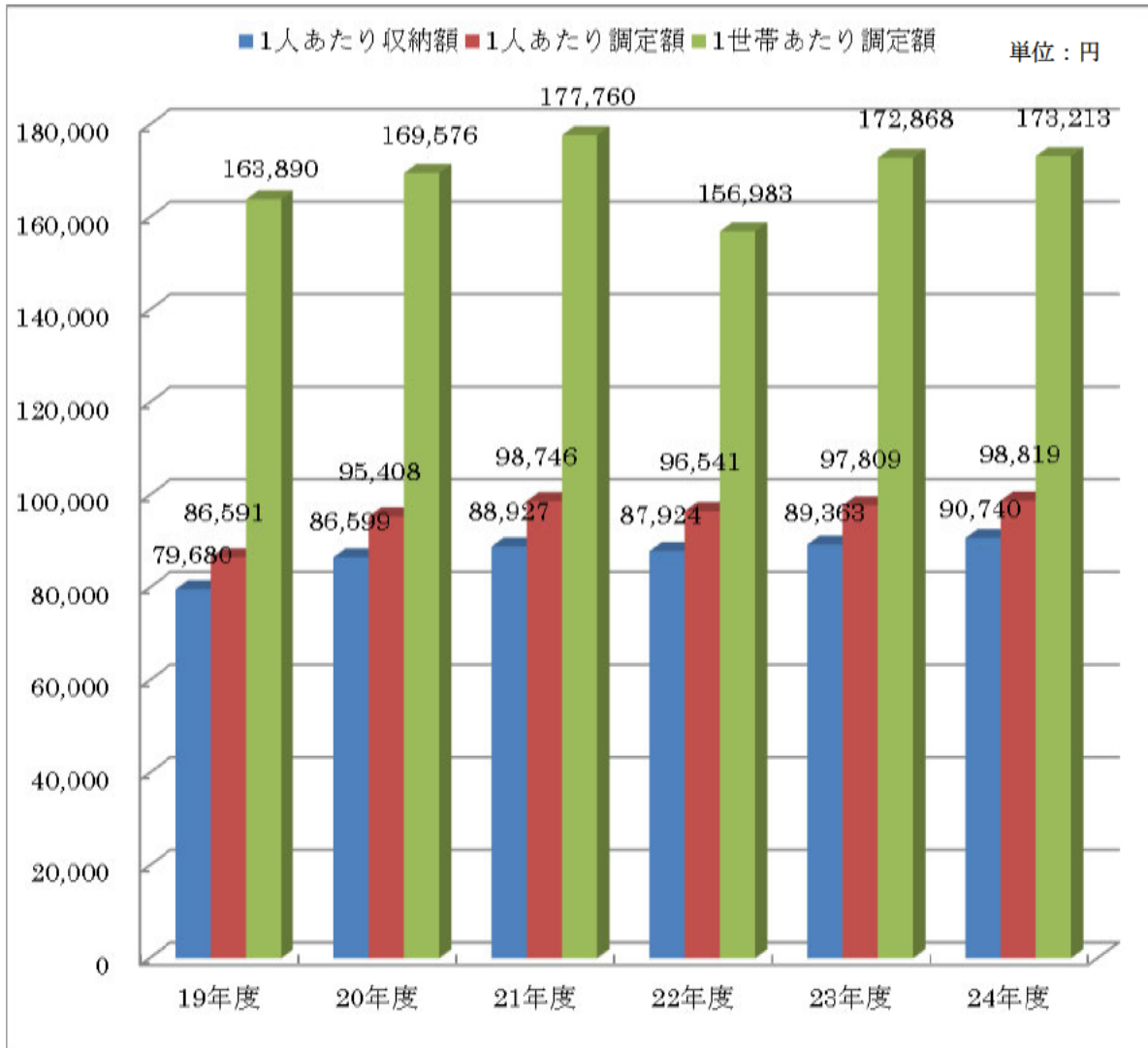
第 11 図 国民健康保険料(税)調定額の年度別推移



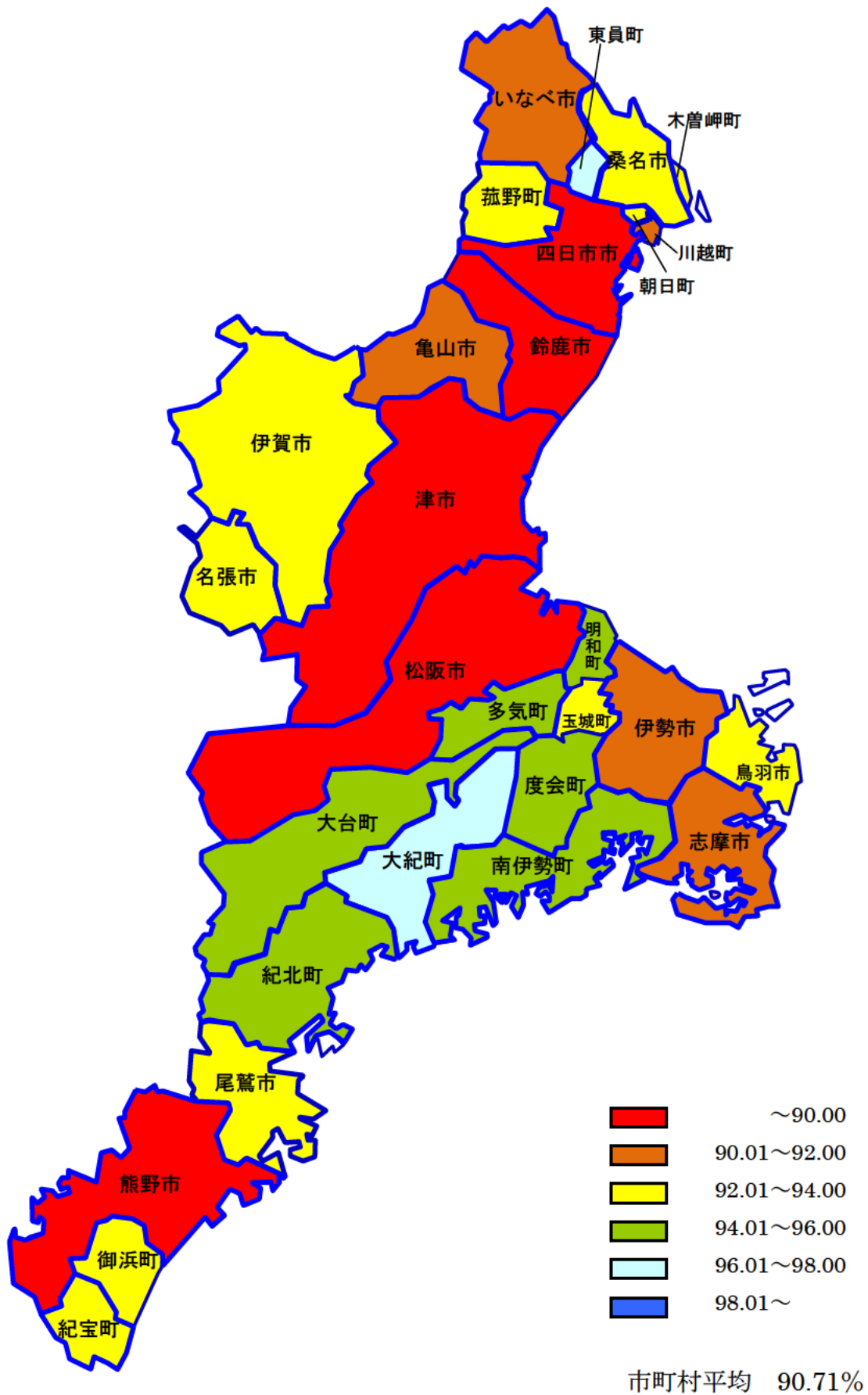
第 12 図 国民健康保険料(税)収納率の推移(市町・現年分)



第13図 年度別被保険者一人当たり保険料（税）調定額、収納額及び一世帯あたり調定額



第 14 図 平成24年度保険料(税)収納率(市町・現年度分)



第 15 図 平成24年度市町別地域差指数

